

平成20年度事務事業評価表

作成日：平成20年7月8日

評価対象年度：平成19年度				管理	2-1-6-5
事務事業名 行政評価推進事業				部等名	市長公室
予算科目	会計	科目コード	予算細目名	課等名	政策推進課
	一般	01-020106003	細々目名		
政策体系	基本目標	2	住民と行政の協働による自立したまちづくり		
	施策	1	安定した財政基盤の確立・行政改革の推進・効率的な財政運営		
	基本事業名	6	行政改革の推進		

事業概要 実施内容	(事業の内容) 市の政策体系に基づく施策・事務事業等を評価する。				
	(業務内容) 評価 評価結果をホームページ等で公表				
根拠法令等	本宮市行政経営戦略プラン		事業の種類	<input type="checkbox"/> 維持管理事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他事業	
			評価区分	<input type="checkbox"/> 事前評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事後評価	

重点事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 重点事業	事業実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 期間限定 (年度 ~ 年度)			
決算額	1 報酬	円	11 消耗品費	10,000 円	15 工事請負費	円
	7 賃金	円	12 役務費	円	18 備品購入費	円
	8 報償費	円	13 委託料	円	19 負担金補助及び交付金	円
	9 旅費	円	14 使用料及び手数料	円	合計	10,000 円

1. 事務事業の現状把握 (Do)

(1) 事務事業の目的と手段

対象 (誰を、何を)		事務事業、 職員	
手段 (事業の具体的な内容、手順等)		活動指標名・式 (アウトプット) 活動の大きさを表す指標	指標 名称 評価事業数
評価表を作成し1次評価を行なう 評価表内容チェック 2次評価対象を抽出 2次評価会議 文章校正 市民へ公開			(1) 式 件数
意図 (対象を、どのような状態にしたいのか)		成果指標名・式 (アウトカム) 意図の達成度を表す指標	指標 名称 改善案が出された率
政策重視で計画・実施・検証・改善された状態にする。 振り返りを行なうことで意識改革される。			(1) 式 改善案が出された事業(85) / 評価事業数(138)
事務事業を実施 (意図を実現) することで、施策にどのように貢献していますか			
事業評価を行ない公表することで、職員の意識改革、市民との行政情報の共有につながり行政改革に結びついていく。			

(2) 指標・総事業費の推移

区分	単位	年度 (実績)	年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込み)	年度 (最終目標)
指標	活動指標 (1)	件			138	900	
	活動指標 (2)						
	成果指標 (1)	%			25.4	25	
	成果指標 (2)						
投入量	事業内訳	国・県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円			10	10
	事業費計 (A)	千円			10	10	
	人件費	職員数	人			0.4	0.4
		人件費平均額 (年)	千円			8,373	8,373
人件費計 (B)		千円			3,349	3,349	
総事業費 (A+B)	千円			3,359	3,359		

(3) 事務事業の環境変化・市民の意見等

、事業の開始時期から、または5年前と比べ事業を取り巻く環境(対象者・法令等・社会情勢)はどう変わりましたか？
行政評価は日本宮町で平成15年度から始められていたが、旧白沢村では行っていなかった。平成17年総務省で策定された新地方行革指針をきっかけとして、全国的に行政評価を行なう自治体が増えている。
この事業に対して、関係者(市民・議会・事業対象者・利害関係人等)からどんな意見や要望が寄せられていますか？
市民からの意見は特にない。ただし、職員からは評価表の作成が通常業務以外の事務なので負担感が大きいとの意見がかなりある。

2. 事務事業の評価 (Check)

[目的妥当性評価]		
施策体系との整合性 <input checked="" type="checkbox"/> 有【理由】 <input type="checkbox"/> 無【理由、改革改善案へ】	市が行なう必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 有【理由】 <input type="checkbox"/> 無【理由、改革改善案へ】	対象・意図の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有【理由】 <input type="checkbox"/> 無【理由、改革改善案へ】
行政改革の推進に結びつくため整合性はある。	自治体の事業評価なので市で行なわなければならない。	事業内容から意図対象は妥当である。
[有効性評価]		
成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 有【理由、改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無【理由】	事業の中止・廃止による影響 <input checked="" type="checkbox"/> 有【理由】 <input type="checkbox"/> 無【理由、改革改善案へ】	類似事業との統廃合の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 有【理由、改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無【理由】
事業を振り返り気づく。	職員の意識改革ができないなど負の要素が多く行政改革が後退する。	現在作成している成果報告書と評価表とのデータを共有化し事務量を減らす。
[効率性評価]		[公平性評価]
事業費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有【理由、改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無【理由】	人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有【理由、改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無【理由】	受益者負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 有【理由、改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無【理由】
事務事業評価推進に係る予算はほとんどなく削減余地はない。	少人数で事務を行っており削減余地はない。	特定のものへの事業ではなく公平性は保たれている。

3. 評価結果の総括と今後の方向性

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括 (振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある	P D C A サイクル (プラン、ドゥ、チェック、アクション) をうまく回しきれてなく評価のための評価という状況になっている。次へつなげる仕組みを作らなければならない。																							
(3) 今後の事業の方向性	(5) 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来の通りで特に改革改善しない)	廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(4) 改革改善案の概要																								
評価後、市民へ公開するだけでなく、予算査定資料に利用するなど次に結びつく仕組みを作っていく。また、全職員が評価表を作成できるように、未経験の職員を中心に外部講師を招き研修会を行なう。																								
(6) 改革改善を実現する上での解決すべき課題と解決策																								
評価表の完成後にそれを生かす仕組みの確立ができていない。評価表の完成度を上げることと完成評価表を生かす仕組みどうサイクルに生かすか課題がある。																								

4. 事務事業の2次評価結果

2次評価対象

2次評価対象外

(1) 2次評価者としての評価結果	(2) 評価結果の根拠と理由																							
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある																								
(3) 今後の事業の方向性 (改革改善案)	(4) 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来の通りで特に改革改善しない)	廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(5) その他、2次評価会議で指摘された事項																								